

タイトル	2022 度 一般入試（後期日程） 医学部保健学科 小論文Ⅱ
評価の ポイント	<p>① 生態系と環境倫理に関する問題で、論理的な読解能力や問題解決能力等を評価した。評価に当たっては、次のような点を重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 本文の記述に沿って、適切に説明できているか。</li><li>・ 文脈を理解し、論理的に説明できているか。</li><li>・ 問われた内容に対して、必要十分な解答ができているか。</li></ul> <p>② おいしさに関する問題で、基本的な読解能力や表のデータを読み取る能力等を評価した。評価においては、次のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 本文の記述に沿って、適切に説明できているか。</li><li>・ 本文の記述や表のデータに沿って、適切に説明できているか。</li><li>・ 文脈を理解し、論理的に説明できているか。</li></ul> <p>③ 核エネルギーの科学的性質と核エネルギー利用における社会的意義について、総合的な読解力や思考力等を評価した。評価に当たっては、次のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 原子力技術の本質的意義や化学的技術とのつながりについて、本文の記述に沿って適切に説明できているか。</li><li>・ 核エネルギーの人間社会との関わりを、本文の記述に沿って適切に説明できているか。</li><li>・ 文脈を読み取りエネルギー量を計算できるか。</li></ul>

氏名	
----	--

受験番号	
------	--

医学部保健学科小論文Ⅱ解答用紙 その1  
(後期日程)

1

問1

自然を保護することで、自然からの恩恵を人は得ることができる
ので、経済発展と自然保護が両立しうるから。また人が自然を保護する理由は、人によって異なってもよいから。

--

問2

日本に生息する動植物は大陸から伝来してきたものが多く、それ
らはある程度の期間を経ることで、すでに私たちの生活に深く浸透しており積極的に駆除する理由が特にない場合がある。

--

小計

氏名	
----	--

受験番号	
------	--

医学部保健学科小論文Ⅱ解答用紙 その2  
(後期日程)

問3

ニュージーランドでは、白人がやってくる前の状態に生態系をも
どそうと白人が持ちこんだ動植物は駆除している。日本は明治以
降に失われた自然を、明治以前にもどすという方針となっ
ている。

--

問4

ため池の生物の死骸やふんがヘドロとして蓄積されると、生物の
生活スペースがなくなり、池全体が酸素不足となるためヘドロの
蓄積が更に進んでしまうので、池の水を抜いてヘドロを除去し池
の酸素を増やし、池を深くする必要があるから。

--

小計

氏名	
----	--

受験番号	
------	--

医学部保健学科小論文Ⅱ解答用紙 その3  
(後期日程)

2

問1

本能的なおいしさは生まれながらに感じる共通のもので
あるが、経験的なおいしさは食経験を重ねることでもた
らされる、人それぞれで基準が異なるものである点で
異なる。

--

問2

甘味、塩味、うま味の味物質は、人体に必要な栄養素で
あり、人体に必要なものを知らせるシグナルになっている
ため。

--

問3

甘味とうま味（塩味も）の閾値に対し、酸味や苦味の閾
値は低いことがわかる。その違いの理由は、酸味は腐敗
を、苦味は毒素の存在を知らせる味であるため、わずか
な量で食べるのをやめることができるから。

--

小計

氏名	
----	--

受験番号	
------	--

医学部保健学科小論文Ⅱ解答用紙 その4  
(後期日程)

3

問1

・原子核反応によって発生する単位重量当たりのエネルギーが、
化学反応によって発生するエネルギーの約100万倍になる点
・原子核反応では放射性物質を残すが地球温暖化の原因となる
CO <sub>2</sub> を発生しない点

--

問2

核エネルギーは、当時最先端の科学技術の中で見いだされた点
や、利用に際してエネルギーを発生させる装置、つまり原子炉
の技術開発から始まった点など、科学・技術と密接に結びつい
た特徴を有しているため。

--

小計

氏名	
----	--

受験番号	
------	--

医学部保健学科小論文Ⅱ解答用紙 その5  
(後期日程)

問3

核エネルギーの科学・技術の先端性・革命的意義を強調することは、核エネルギーは不可知なもの、理解が難しいものという印象を与えてしまう可能性がある。
--

--

問4

$[1日の稼働時間] = 230,000,000,000 \div 0.7 \div 37,000,000 \div 365$
$= 230,000 \div (0.7 \times 37 \times 365) = 230,000 \div 9,450$
$= 24.33$
よって、1日の稼働時間を24時間として計算している。

--

小計